

卓球部顧問・指導者・関係者の皆様へ
卓球部員のみなさんへ

東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長
東京都立多摩工科高等学校 平 雅行

第76回 関東高等学校卓球大会のご報告と御礼

みなさんこんにちは。東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長の平雅行です。

お陰をもちまして、今年度の第76回関東高等学校卓球大会を無事に開催、終了することができました。今大会は栃木県の日環アリーナ栃木で行われました。特に栃木県の役員先生方や協力校生徒の皆様には感謝申し上げます。

この歴史ある関東大会において、今年度も東京都の選手たちが目覚ましい活躍を見せてくれました。まず男子ダブルスの部では、東京都予選を1位で通過した安田学園高等学校の平野晃聖・伊與田順太組が見事優勝を果たしました。群馬県代表の樹徳高校ペアとの決勝戦はフルゲームにおよぶ大激戦であり、非常に見応えのある素晴らしい試合でした。なお、安田学園ペアのダブルス優勝は、第63回大会（茨城県筑西市開催）の村上・中島組以来、13年ぶり2回目の快挙となります。本当におめでとうございます。

また男子学校対抗の部においては、実践学園高等学校が同校として2回目となる4連覇を達成し、通算12回目の優勝という偉業を成し遂げられました。関東大会の長い歴史の中で、4連覇を達成した学校は実践学園を含めてわずか4校のみであり、まさに誇るべき足跡です。さらに、競技の締めくりとなった男子シングルの部でも、実践学園の選手3名がベスト8に進出。そして、東京都予選を1位で通過した山路直太郎選手（実践学園）が見事優勝を飾りました。東京都の層の厚さと実力を遺憾なく発揮してくれました。

今大会で得た成果と課題をそれぞれが胸に、高校生たちの挑戦はまだまだ続きます。今後の各大会においても、皆様のさらなるご活躍と健闘を心よりお祈り申し上げます。

簡単ではございますが、書面をもちまして大会終了のご報告と御礼とさせていただきます。



学校対抗の部 優勝：実践学園高等学校



ダブルスの部：優勝
伊與田 順太・平野 晃聖 組
(安田学園高等学校)



シングルの部：優勝
山路 直太郎
(実践学園高等学校)